

## 令和4年度全国農業大学校等意見発表要旨

農業大学校名 山形県立農林大学校 学科名 果樹経営学科 学年 1年 氏名 多田<sup>ただ</sup> えり子

### 1 課 題

広げよう農業の輪！ ～ようこそ「観光果樹園」テーマパークへ～

### 2 意見・提言

#### <地元の課題>

私の出身地である山形県東根市は果樹栽培が盛んである。私の家にも非農家ながらさくらんぼの樹があり、昔から農業に触れてきた。東根市の果樹園は、地元にとって「自慢」や「誇り」であり、「大切な宝」である。しかし、その果樹園が、近年の担い手不足や農業従事者の高齢化により、少なくなっている。このままでは、自慢の果樹園が消えてしまう。そのことに危機感を覚え、私は東根市の果樹栽培を支えたい、守りたい、と考えるようになった。

#### <農業の輪を広げるには>

農業従事者の減少を防ぎ、担い手を増やすには、農業のマイナスイメージを良い方向に変えていく必要がある。農業の輪を広げ、仲間を増やし、多くの人に農業に興味を持ってもらうにはどうしたら良いか。そこで、私は「観光果樹園」に着目した。また、収穫体験こそが、農業体験の中でも、一番楽しくやりがいのある瞬間であると感じた。その魅力を発信することで、農業に少しでも興味を持ってくれる人が増えるのではないかと考えた。

#### <私が目指す「観光果樹園」の姿>

体験学習でお世話になった「観光果樹園」での経験から、理想の「観光果樹園」の経営像が見えてきた。コンセプトは、大人と子供両方の“アソビゴコロ”をくすぐるテーマパークのような「観光果樹園」である。お客さんの“アソビゴコロ”を刺激し、「また来たいや！」や「農業って面白い！」を目指す。まずは、オンラインで居ながらにして果樹の収穫体験をして、来園のきっかけを作り、“アソビゴコロ”満載の「観光果樹園」でおもてなしをする。これらのアイデアの実現に向けて、農林大学校で経験を積み、「観光果樹園」を経営するための栽培技術の習得を目指している。

#### <「観光果樹園」を通じて知ってもらいたいこと>

「観光果樹園」を通じて農業の輪を広げていくことで、より多くの人に農業の魅力を知ってもらい、東根市がこんなにも良い場所で、誇りある自慢の街だと、地元の人はもちろん、多くの人に知って欲しい。そして、果樹園をみんなで守って行こう！、「広げよう農業の輪！」